ボーリング柱状図

調査名　篠崎公園地区高規格堤防整備検討等業務

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	Ｎｏ．１	調査位置	東京都江戸川区上篠崎地先	シートNo. 北緯	３５°４２′４９.６″
発注機関	国土交通省　関東地方整備局　江戸川工事事務所	調査期間	平成１４年１２月　５日～１４年１２月１０日	東経	１３９°５４′７.１″
調査業者名	株式会社協和コンサルタンツ 電話（03－3376－3731）	主任技師	[redacted]	現場代理人 [redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	Y.P +2.36m	角度	上180° 下0° 90°	方向	北0° 東90° 南180° 西270°	地盤勾配	鉛置90° 水平0°	使用機種	試錐機	ＫＲ－１００	ハンマー落下用具	コーンブーリー
総掘進長	14.45m								エンジン	ＮＳ－７５	ポンプ	Ｖ－６

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	1.66	0.70	0.70		盛土・粘性土	暗茶褐			ローム質土主体とする。 煉瓦片多く混入する。含水小。
	0.91	0.75	1.45		粘土質シルト	暗褐灰		軟らかい	層上部、草根混入する。不均質。 不均質、含水中、砂分混入する。 腐植物混入する。
2	0.06	0.85	2.30		シルト質細砂	暗灰	非常に緩い		比較的均質、含水大。 シルトが多く含有する。 腐植物や雲母片混入する。 シルト薄層状に挟む。
3					シルト混じり細砂	暗灰	非常に緩い		粒子均一、含水大。 所々シルト分多量に含有する。 貝殻片や雲母片を混入する。 シルト薄層及びシーム状に挟む。 層下部、粒子やや細かい。
4	-1.64	1.70	4.00						
5					シルト	暗灰		非常に軟い	全体的に微細砂を微量に混入する。 均質、含水大、貝殻片混入する。 全体に貝殻片を混入する。 腐植物や雲母片混入する。 4.45～4.65m、貝殻混じり細砂を挟む。 8.00～8.35m固結砂を10cm程度挟む。 8m付近砂分やや多い。
6									
7									
8	-5.99	4.35	8.35						
9					細砂	黒灰～暗黄灰	密な～非常に密な		全体に粒子均一、含水量多い。 部分的に貝殻片を混入する。 雲母片を混入する。 8～9m所々固結状を呈する。 砂鉄を多く含有する。 9mより色調暗黄灰色に変化する。 10～14m全体にシルト分やや含有する。 所々、粒子やや粗くなる。
10									
11									
12									
13									
14	-12.09	6.10	14.45						

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
12/5 1.20	1.15	1	2	1	4/30	4
	1.45					
	2.15	1/22	1/11		2/33	1.8
	2.48					
	3.15	1/17	1/18		2/35	1.7
	3.50					
	4.15	1	1	1	3/30	3
	4.45					
	5.15	0/21	1/13		1/34	0.9
	5.49					
	6.15	1/35			1/35	0.9
	6.50					
	7.15	1/21	1/12		2/33	1.8
	7.48					
	8.15	1	2	17	20/30	20
	8.45					
	9.15	22	24	4/2	50/22	
	9.37					
	10.15	9	9	18	36/30	36
	10.45					
	11.15	15	17	18/7	50/27	
	11.42					
	12.15	14	16	20	50/30	
	12.45					
	13.15	9	11	18	38/30	38
	13.45					
	14.15	9	12	15	36/30	36
	14.45					

原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
2.30				
3.10	1-S-1	Ⓢ	繰返し三軸動的変形	
3.80				
3.80				
4.45				
4.65	1-P-1	Ⓟ	粒度	12/5
				12/6